

北海道教育大学附属特別支援学校 令和6年度 公開研究協議会

研究主題：児童生徒一人一人の自己実現を
目指した授業実践に関する研究



小学部

「みんなで行って！
作って！遊ぼう！」
校外学習で体験したこと、
見てきたものを振り返り、
「またやってみたい」とい
う思いを形にしていく活動
に取り組む姿を目指します。

中学部

『「衣服」のことを考えよう』
TPOに合わせた服装選
びについて考えます。自分
の服装選択を家庭等の実際
の場で実践することで、
家庭等と連携した指導を目
指します。

高等部

「一学期報告会」
一学期の様々な活動の中
で生徒が五感で感じたこと
をまとめて報告します。
「一番伝えたい」と感じた
事柄を、様々な手法を用い
て伝えることを目指します。

参加費
無料

申込み
期間

令和6年6月14日（金）～7月4日（木）

日時

令和6年7月20日（土） 9：00～16：00

会場

北海道教育大学附属特別支援学校
（来校参加・ZOOMでの参加から選択）

内 容

授業参観（小学部、中学部、高等部）、学部協議、基調講演

申込方法

下にある申込みフォームまたは本校HPからお申し込みください。

来校参加は
コチラ



ZOOM参加は
コチラ



連絡先： 北海道教育大学附属特別支援学校 担当：澤口 厚平
TEL:0138-46-2515 FAX：0138-47-8729

本年度の研究概要

本校研究の目的

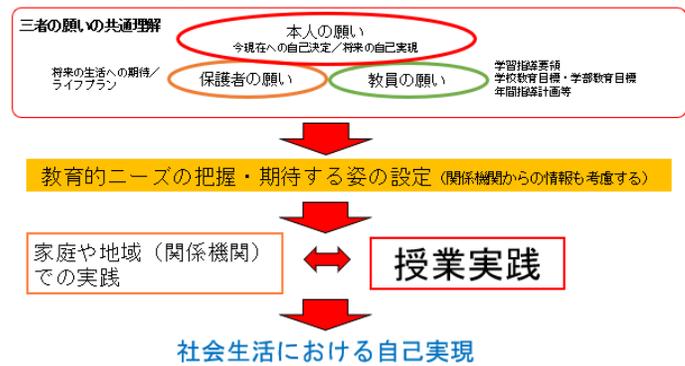
児童生徒や保護者、教員の願いの共通理解を図り、自己実現を目指した授業づくりのプロセスとその効果を明らかにする。

本研究では、児童生徒本人や保護者、教員の願いをもとに、期待する姿を設定し、児童生徒の自己実現を目指した授業づくりについて研究しています。各学部が段階的に研究テーマを設定し、それぞれが授業づくりを行っています。小学部では活動に夢中になる姿から自己実現を目指します。中学部は集団の中での自己実現を目指します。高等部では自立と社会参加へ向けた自己実現を目指します。

本年度は、保護者、地域（放課後等デイサービス、福祉事業所等）とより一層の連携を図りながら、児童生徒の願いを明確にしたり、「1年後にこうあってほしい」という姿を共有したりして、児童生徒の願いの実現を図るための指導支援を充実させていきます。

当日は児童生徒の自己実現を目指した授業をぜひご参観ください。

本校で想定する自己実現のプロセス



基調講演

演題：子どもたちの適応と成長を支えるポジティブ行動支援

【大久保先生のご紹介】

専門分野：特別支援教育、応用行動分析学、Positive Behavior Support

研究テーマ：特別支援教育、知的障害・発達障害支援、応用行動分析学、ポジティブ行動支援、教員研修プログラムの開発

職歴：2014年4月～2021年3月 畿央大学准教授
2021年4月～現在 畿央大学教授
2024年5月～現在 一般社団法人日本ポジティブ行動支援ネットワーク 代表理事

書籍「3ステップで行動問題を解決するハンドブック：小・中学校で役立つ応用行動分析学」、「スクールワイドPBS—学校全体で取り組むポジティブな行動支援」など、子どもたちの指導・支援の更なる充実に向けた多数の著作に関わっています。基調講演では、保護者や地域との連携、自己実現や満足度に関連付けてQOLやウェルビーイングに関する内容などをご講演いただく予定です。



畿央大学
大学院 教育学研究科
教育学部 現代教育学科
大久保 賢一 教授